
令和7年度

社会福祉法人松山会 運営推進会議

地域密着型介護老人福祉施設
特別養護老人ホーム 緑風苑(第3回)

認知症対応型通所介護事業所
紅葉苑デイサービスセンター絆(第1回)

認知症対応型通所介護事業所
緑風苑デイサービスセンターE型

日時: 令和7年 9月 29日(月) 10時30分～

場所: 緑風苑1階面接室

【 会 議 次 第 】

- 1 施設長挨拶

- 2 【地域密着型特別養護老人ホーム緑風苑】
特別養護老人ホーム緑風苑 入居状況報告
(1)入居者の状況
(2)活動報告

事故報告
(1)ヒヤリハット報告
(2)インシデント、アクシデント報告

- 3 【認知症対応型通所介護 デイサービスセンター絆】

(1)施設概要
(2)ご利用者状況報告
(3)活動報告
(4)ヒヤリハット報告

- 4 ご意見、ご要望

参加予定者名簿

氏 名	所 属	職 名
片山 仁之	滝尾地区連合自治会	副会長
副 重美	滝尾地区民生児童委員協議会	副会長
西 幸子	地域密着型特別養護老人ホーム緑風苑	入居者ご家族
竹内 昌一	紅葉苑デイサービスセンター絆	利用者ご家族
渡邊 典弘	滝尾地域包括支援センター	センター長
佐藤 祐樹	社会福祉法人松山会緑風苑	施設長
田嶋 大介	社会福祉法人松山会紅葉苑	施設長
田中 宏哉	地域密着型特別養護老人ホーム緑風苑	生活相談員
佐藤 圭子	地域密着型特別養護老人ホーム緑風苑	介護支援専門員
下岡 浩	地域密着型特別養護老人ホーム緑風苑	介護主任
河野 志郎	紅葉苑デイサービスセンター絆	介護主任

※ 敬 証 略

社会福祉法人松山会

紅葉苑デイサービスセンター絆

運営推進会議資料



紅葉苑デイサービスセンター絆の特徴

紅葉苑デイサービスセンター絆は軽度認知症の方を対象とした利用者定員12名のデイサービスです。認知症と診断された方でも「今できる事を減らさない」「できない事を増やさない」そんな支援を目指して、明るく家庭的な雰囲気でのケアを行えるよう心がけています。

心身の活性を促すために脳トレや会話。集団レクリエーションに参加して頂いたり、中庭では季節の花などを植えて、選定や水やりなどの世話。ご利用者お一人おひとりに合った個別性の高いケアを目指しながら「生活の質」が向上するよう努めています。



フロア



キッチン



浴室



中庭

1日の定員数 12名 営業日・月曜日～土曜日 サービス提供時間時間9:30～15:45

【 乙利用者状況報告 】

令和7年4月～9月（介護度別）

要支援2	1名	要介護2	5名	要介護4	2名	平均介護度 2.1
要介護1	6名	要介護3	6名	要介護5	0名	乙利用者 20名

年齢別一覧（登録数）

年齢	男性	女性	合計
～69	0	0	0
75～79歳	0	0	0
80～84歳	0	5	0
85～89歳	2	8	0
90歳以上	0	5	0
合計	2	18	0

※ 平均年齢歳 87.4 R7/9月現在

認知症日常生活自立度状況

I	4名
II a	4名
II b	9名
III a	1名
III b	1名
IV	1名
M	0名
計	20名

【 認知症日常生活自立度判定基準 】

ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
	IIa 家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
IIb 家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等	
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
	IIIa 日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排泄が上手にできない、時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
IIIb 夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIIIaに同じ	
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIaに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

【 活動報告 】

行事名	お花見ドライブ	日時	令和7年 4月 10 日(木)
内容	春の話題で桜の話に花が咲いた際に、桜が見たいと沢山の声があがりました。花見は別日に企画していましたが、皆さんの気持ちが花見になっていたことから急遽大分市の岡原と鶴崎の河川敷へお花見のドライブへ行きました。		

行事名	手工芸【夫婦鯉】	日時	令和7年 4月 15日(月)
内容	端午の節句にちなんで夫婦鯉の飾り作りを行いました。鯉には成長などの縁起の意味もあります。細かな作業もあり、苦勞されてる様子もありましたが「孫や娘に見せたい。」と一生懸命作られていました。		

行事名	手工芸【壁画】	日時	令和7年 5月 20日(火)
内容	2カ月に1度のペースで壁画を皆で作成しています。今回はバルーンにご利用者の写真を載せてみました。1人につき1機ではなく仲の良い方同士で乗っている方もいます。		

行事名	手工芸【吹き流し】	日時	令和7年 6月 16日(月)
内容	梅雨も短く「もう夏やな」そんな言葉も出始めていました。少しでも涼しげな雰囲気味わっていただく為に吹き流しを作成しました。それぞれの好きな色を選んで作成して、個性豊かな作品に仕上がりました。		

行事名	七夕の飾り付け	日時	令和7年 7月 1日(火)
内容	七夕が近くなり、七夕飾りを皆さんで作成しました。互いに談笑したり見せ合ったりしながら完成した作品を笹に飾り、それぞれ願いを込めて短冊を下げて頂きました。		

行事名	外出(思い出の鶴崎へ)海を見に行こう	日時	令和7年 7月 21日(月)
内容	海の日になんだ会話の中で「海なんて最近ずっと見ていない」と海を見に行きたいムードが高まりました。そしてご利用者の中に鶴崎出身の方がいたことから、皆で鶴崎の海までドライブへ行ってきました。		

行事名	手工芸【打ち上げ花火】	日時	令和7年 7月 30日(水)
内容	夏という季節から花火の話が出ました。「本当は本物の花火がいいのに」という声もありました。来年は本物の花火が実現できるよう企画したいと考えています。		

【 活動報告 】

行事名	夏の風景 ～ひまわりの壁面～	日時	令和7年 7月 31日(木)
内容	2カ月に1度の壁画をご利用者と一緒に作成しました。「ここにはこの柄を貼ろうよ」「じゃあここはどうしよう」ご利用者同士の会話も盛り上がり、良い雰囲気の中で作品作りが出来ました。		

行事名	夏祭り準備	日時	令和7年 8月 4日(月)
内容	月末に開催される夏祭り。準備から手伝って頂き「これは何になるの?」や、「お祭りって何をやるの?」など待ち遠しい様子でした。		

行事名	絆 夏祭り	日時	令和7年 8月 25日～(月～土)
内容	夏の風物詩でもある夏祭りを開催しました。スイカに見立てた風船割や、ヨーヨー釣り、ビンゴゲーム大会。そしてかき氷を楽しまれました。普段よりも元気な声と笑い声にホールが包まれました。		

行事名	手工芸【月見うさぎ】	日時	令和7年 9月 5日(金)
内容	お月見の時期が近くなったので月見にちなんだ作品を作成しました。ちょうど地元の中学生在が職場体験に来ていました。作品と一緒に作りながら、お孫さんの年代に近い子供たちとの会話に目を細めていました。		

行事名	芸術の秋 ～筆で文字を楽しもう～	日時	令和7年 9月 5日(金)
内容	「実は私、習字がずっとしたくて誰にも言えなかったのよ。準備もお部屋も狭くて大変だから」その一言から始まりました。秋桜、秋、九月というお手本を目の前に「書くのは1枚だけでいい」そんな事を言いながら何枚も何枚も書かれていました。納得のいく出来栄の書はご自宅に貼っておられます。		

行事名	滝尾中学生との交流	日時	令和7年 9月 5日(金)
内容	地元の中学生在が職場体験で訪問してくれました。緊張している表情の中学生でしたが、孫を相手にするような柔らかい表情と声色で接するご利用者。一緒に月見とうさぎの手工芸もしました。		

行事名	お庭のお手入れ ～私のしたい事～	日時	令和7年 9月 12日(金)
内容	「この庭を綺麗にして、何か植えてあげようか?」その一言から始まりました。鎌や、剪定ばさみを駆使し綺麗にして下さいました。以来、ご利用日は常に庭のチェックが入るようになりました。		

【 ヒヤリハット報告① 】

ヒヤリハットとは事故に至る一歩手前の出来事で、「ヒヤリ」としたり、「ハツとした」状況や出来事の事例です。介護現場での安全管理において、重大事故の発生を未然に防ぐための重要な手掛かりとなります。

令和7年 7月

発生日時	令和7年 7月 28日 10時 00分
分類	転倒のおそれ
内容	入浴前のトイレに行く際に、椅子から立ち上がり移動しようとされ後方へのフラツキがあった。
対策	日頃から夜間睡眠が不十分な方で、行動を移す際にリスクが高まる事を会議で周知して、活動の切り替え時に見守りを強化するようにした。

令和7年 8月

発生日時	令和7年 8月 6日 10時 00分
分類	転倒のおそれ
内容	杖歩行のご利用者へ入浴前のトイレ声掛け後、杖を使わずに歩こうとされる所を発見し即座に対応する。
対策	認知面の低下より、杖を使用して歩く事を認識することが難しくなっている面もある。移動をする際には、声掛けと同時に杖を渡すようにした。

令和7年 8月

発生日時	令和7年 8月 12日 10時 30分
分類	転倒のおそれ
内容	トイレに行く際に立ち上がり、歩行途中で膝の力が抜けてしゃがみ込みそうになった。
対策	年齢も97歳の高齢で足のむくみもある方のため、近くで見守り即座の対応ができるようにした。

【 ヒヤリハット報告② 】

「ヒヤリハット」とは事故に至る一步手前の出来事で、「ヒヤリ」としたり、「ハツとした」状況や出来事の事例です。介護現場での安全管理において、重大事故の発生を未然に防ぐための重要な手掛かりとなります。

令和7年 9月分 1件

発生日時	令和7年 9月 10日 13時 00分
分類	転倒のおそれ
内容	口腔ケア後立ち上がる際に、椅子を下げずに立とうとしてフラツキがあった。
対策	職員間で検討会を実施。自立歩行の方だが、食後口腔ケアや入浴時など血圧の変動が考えられる場面では、危険がない様に起立～移動～着席までの見守りを行う様にした。

令和7年 9月分 1件

発生日時	令和7年 9月 12日 11時 00分
分類	溺水のおそれ
内容	手すりを持って浴槽から上がる際に、バランスを崩しお湯の中でがひっくり返りそうになった。
対策	浴槽から上がる際は、身体機能が自立している方でも手を添え安全に入浴を行えるようにした。

【 事故報告 】

今期も介護事故は発生しておりません。今後もヒヤリハットを分析・活用しながら、リスクの発生を最小限に留める努力を継続していきます。

また、職員間での申し送りや検討会議、情報共有を活発に行いながら日頃のリスク管理も敢行してまいります。